



# ITA\_利用手順マニュアル

基本コンソール

—第1.7版—

## 免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複製することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

## 商標

- ・ LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Apache、Apache Tomcat、Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。
- ・ Ansibleは、Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。
- ・ AnsibleTowerは、Red Hat, Inc. の登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、TM マークは本書に明記しておりません。

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

# 目次

はじめに .....	4
1 ITA 基本コンソールの概要 .....	5
2 ITA 基本コンソールのメニュー、画面構成 .....	6
2.1 ITA 基本コンソールメニュー 一覧 .....	6
3 ITA 基本コンソール利用手順 .....	7
3.1 作業フロー .....	7
4 機能・操作方法説明 .....	8
4.1 ITA 基本コンソール .....	8
4.1.1 機器一覧 .....	8
4.1.2 紐付対象メニュー .....	10
4.1.3 投入オペレーション一覧 .....	11
4.1.4 Movement 一覧 .....	12
5 運用上の注意事項 .....	13
5.1 オペレーション作業履歴の定期削除 .....	13

## はじめに

---

本書は、ITA の基本コンソールの機能および操作方法について説明します。

## 1 ITA 基本コンソールの概要

---

本章では基本コンソールメニューの機能、操作方法について説明します。

基本コンソールでは、ITA を利用して作業を行う上で共通に必要な以下の機能を提供します。

- ・ 機器情報の登録、管理

ITA の操作手順における基本コンソールの位置づけは、「ファーストステップガイド」を参照してください。

## 2 ITA 基本コンソールのメニュー、画面構成

本章では、ITA 基本コンソールのメニュー、画面構成について説明します

### 2.1 ITA 基本コンソールメニュー 一覧

ITA 共通/基本コンソールのメニューを以下に示します。

表 2.1-1 ITA 画面一覧

No	メニュー グループ	メニュー・画面	説明
1	ITA 基本 コンソール	機器一覧	管理対象システム一覧をメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます
2		投入オペレーション一覧	投入オペレーション一覧をメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます
3		Movement 一覧	登録した Movement の一覧を閲覧できます

### 3 ITA 基本コンソール利用手順

#### 3.1 作業フロー

ITA 基本コンソールにおける標準的な作業フローは以下のとおりです。

各作業の詳細は次項に記載しています。

Movement の登録方法については、各 Driver の利用手順マニュアルを参照してください。

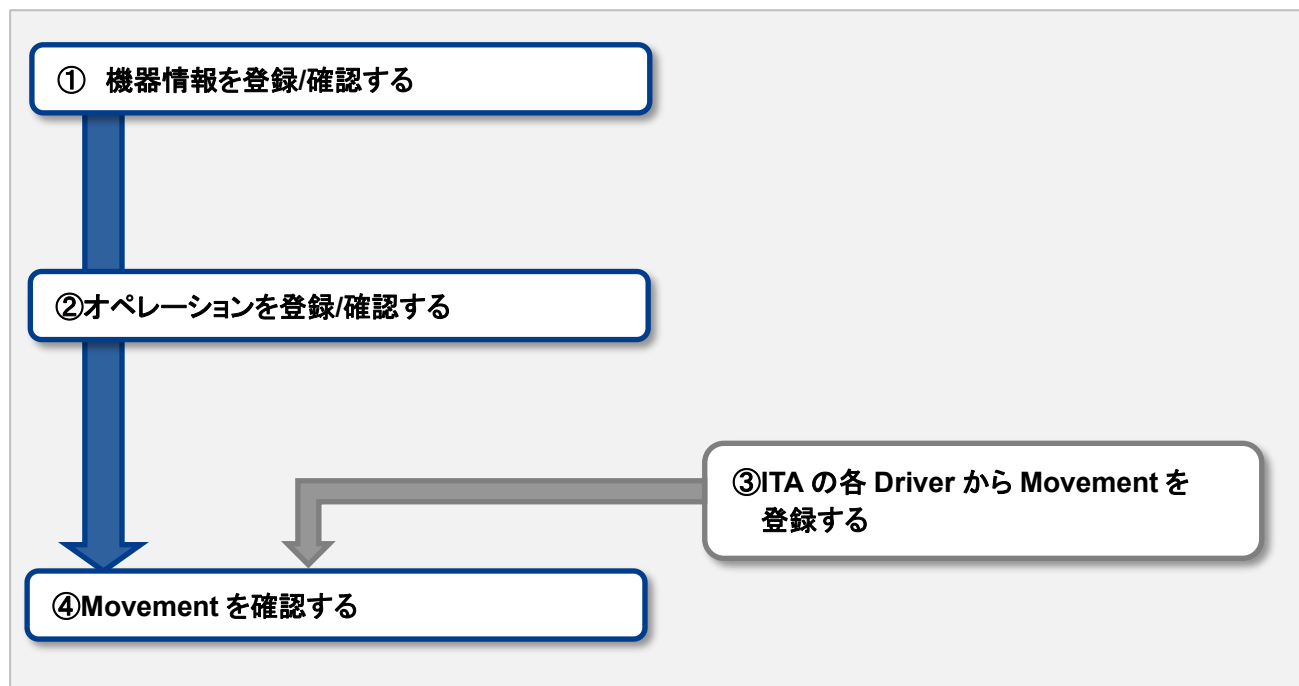


図 3.1-1 作業フロー

## 4 機能・操作方法説明

### 4.1 ITA 基本コンソール

#### 4.1.1 機器一覧

- (1) [機器一覧] 画面では、作業対象ホストの情報を管理します。  
各オーケストレータの実行前にサーバタイプに応じた必要情報を登録してください。  
また、再実行の際にサーバ情報が変更になっている場合は、事前に変更処理をしてください。



図 4.1-1 サブメニュー画面(機器一覧)

- (2) 「登録」-「登録開始」ボタンより、機器情報の登録を行います。

HW機器種別	ホスト名	IPアドレス	EtherWakeOnLan		ログインユーザID	ログインパスワード	ssh認証情報	
			MACアドレス	ネットワークデバイス名			ssh秘密鍵ファイル	パスフレーズ
	exastro-it-automa	127.0.0.1			root		ファイルを選択   選択されていません	
<div>更新アップロード</div> <div>アップロード状況:</div>								

図 4.1-2 登録画面(機器一覧 - 共通項目)



- (3) 登録画面の共通項目一覧は以下のとおりです。  
 作業対象の「ホスト名」、「IP アドレス」は、必ず入力してください。  
 ※「ログインパスワード」は、「管理」を●とした場合、登録は必須です。

表 4.1-1 登録画面項目一覧(機器一覧 - 共通項目)

項目		説明	入力必須	入力形式	制約事項
管理システム項番		登録情報を識別する一意の ID が自動入力されます	-	自動入力	-
HW 機器種別		HW 機器の種別を選択します	-	手動入力	最大長 128 バイト
ホスト名		ホスト名を入力します	○	手動入力	-
IP アドレス		IP アドレス(XXX.XXX.XXX.XXX 形式)を入力します	○	手動入力	最大長 15 バイト
EtherWake OnLan	MAC アドレス	MAC アドレスを入力します	-	手動入力	最大長 17 バイト
	ネットワーク デバイス名	ネットワークデバイス名を入力します	-	手動入力	最大長 256 バイト
ログインユーザ ID		ログインするユーザ ID を入力します	-	手動入力	最大長 30 バイト
ログインパスワード	管理	ITA でパスワードを管理する場合「●」を選択します	-	リスト選択	-
	ログイン パスワード	パスワードを指定します	※	手動入力	最大長 30 バイト
ssh 鍵認証 情報	ssh 秘密鍵 ファイル	ssh 秘密鍵ファイルを指定して鍵認証する場合の秘密鍵ファイルを入力します。 アップロードしたファイルは暗号化されて保存されます。登録後にダウンロードした場合、暗号化されたファイルがダウンロードされます。	-	手動入力	-
	パスフレーズ	ssh 秘密鍵ファイルにパスフレーズが設定されている場合、パスフレーズを入力します。	-	手動入力	最大長 256 バイト
備考		自由記述欄です	-	手動入力	-

- (4) 共通項目の他に、各 Driver/オーケストレータを利用する場合に情報を登録します。  
 各 Driver の詳細はそれぞれの利用手順を参照してください。

#### ① Ansible 利用情報

図 4.1-3 登録画面(機器一覧 - Ansible)

- Ansible 利用情報は Ansible driver に必要なパラメータです。
- 詳細については、「利用手順マニュアル\_Ansible-driver」を参照してください。

#### 4.1.2 紐付対象メニュー

- (1) 紐付対象メニューでは、代入値自動登録設定で連携する CMDB のメニューを登録／更新／廃止を行います。

※CMDB をカスタマイズしたときに、連携できるオプションの機能です。デフォルトでは利用しません。

図 4.1-4 サブメニュー画面(紐付対象メニュー)

- (2) 「登録」-「登録開始」ボタンより、メニューの紐付けを行います。

図 4.1-5 登録画面(紐付対象メニュー)

- (3) 登録画面の項目一覧は以下のとおりです。

表 4.1-2 登録画面項目一覧(紐付対象メニュー)

項目	説明	入力必須	入力形式	制約事項
メニューグループ: メニュー※2	CMDB のメニューが表示されます。 代入値自動登録設定で連携する CMDB のメニューを選択します。	○	リスト選択	-
備考	自由記述欄です。	-	手動入力	最大長 4000 バイト

※2 CMDB のメニューグループとメニューの登録が必要です。

メニューグループとメニューの登録についての説明は、「利用手順マニュアル\_管理コンソール」を参照してください。

### 4.1.3 投入オペレーション一覧

- (1) [投入オペレーション一覧]画面では、オーケストレータで実行する、作業対象ホストに対するオペレーションを管理します。

例)「サービス追加工事作業」など



図 4.1-6 サブメニュー画面(投入オペレーション一覧)

- (2) 「登録」-「登録開始」ボタンより、オペレーション情報の登録を行います。

No.	オペレーションID	オペレーション名*	実施予定日時*	備考	最終更新日時	最終更新者
自動入力	自動入力				自動入力	自動入力

図 4.1-7 登録画面(投入オペレーション一覧)

- (3) 登録画面の項目一覧は以下のとおりです。

表 4.1-3 登録画面項目一覧(投入オペレーション一覧)

項目	説明	入力 必須	入力形式	制約事項
オペレーション名	任意のオペレーション名を登録します	○	手動入力	最大長 256 バイト
実施予定日時	オペレーションの実施予定日時を入力します ※ここで指定した日付で実際に処理が実行されるわけではありません。 ※実施予定日時が設定されているオペレーションに紐づく作業履歴は、指定した保存期間を過ぎると自動で削除されます。	○	手動入力	-
オペレーション ID	オペレーションを識別する一意の ID が自動入力されます	-	自動入力	-
最終実行日時	Symphony 実行や各ドライバの作業実行で、このオペレーションを選択し実行した実績の日時が表示されます。	-	表示項目	未実行のオペレーションの場合は空白が表示されます。
備考	自由記述欄です	-	手動入力	-

#### 4.1.4 Movement 一覧

- (1) [Movement 一覧]画面では、オーケストレータを利用する際の Movement とオーケストレータの関連付けを確認できます(参照のみ)。  
Movement の実際の登録は、各 Driver の利用手順マニュアルを参照し、各オーケストレータの ITA 用ドライバーのコンソールメニューから行ってください。

The screenshot displays the 'Exastro IT Automation 基本コンソール' (Basic Console) interface. The sidebar menu on the left includes 'Menu', 'メインメニュー', '機器一覧', '紐付対象メニュー', '投入オペレーション一覧', and 'Movement 一覧' (highlighted with a red box). The main content area shows a 'Movement 一覧' screen with a table of movements. The table has columns for '廃止' (Abolished), 'Movement ID', 'Movement 名' (Movement Name), 'オーケストレータ' (Orchestrator), '遅延タイマー' (Delay Timer), '最終更新日時' (Last Update Date/Time), and '最終更新者' (Last Updated By). The table is currently empty, displaying 'レコードはありません。' (No records found). Below the table are buttons for 'フィルタ' (Filter) and 'フィルタクリア' (Clear Filter), and a checkbox for 'オートフィルタ' (Auto Filter). The bottom status bar shows '管理者に連絡' (Contact Administrator).

廃止	Movement ID	Movement 名	オーケストレータ	遅延タイマー	最終更新日時	最終更新者
廃止含まず ▼	~	▼プルダウン検索	▼プルダウン検索	~	~	▼プルダウン検索

図 4.1-8 サブメニュー画面 (Movement 一覧)

## 5 運用上の注意事項

---

### 5.1 オペレーション作業履歴の定期削除

「投入オペレーション一覧」メニューに登録されているオペレーションの実施予定日時に紐づくデータを削除する機能を用意しております。

詳細は、「利用手順マニュアル\_管理コンソール」を参照してください。